

令和6年8月23日

常総市立石下小学校 不祥事防止に向けた取組

常総市立石下小学校長

本校では、以下のような対策のもと服務規律確保を図ります。

1 目的

年間を通して継続的に校内研修を行うことにより、不祥事への当事者意識を醸成し、学校全体で不祥事の根絶を図るものとする。

2 校内コンプライアンス委員会

教頭、教務主任、生徒指導主事、保健主事、ブロック代表により組織する。

3 コンプライアンス研修年間計画（担当職員が企画・運営）

月	研修内容	担当者
4月	○服務規律の確保① ・セルフチェックについて（交通事故防止、飲酒運転、わいせつ行為等の撲滅） ・3ない運動＋4：合い言葉「たいせつですね」の確認	管理職
5月	○体罰禁止等、生徒指導について ・生徒指導の在り方 ・カウンセリングマインドの実際	3学年
6月	○個人情報の保護について ・成績等、個人情報の取扱い ・情報漏えいの防止策	2学年
7月	○人権尊重、人権教育について ・人権尊重の基本的な在り方 ・人権教育の進め方	特別支援
8月	○公金等の取扱いについて ・取扱い上の留意事項 ・不正処理等の事例研修	事務
9月	○職場における心身の健康保持について ・メンタルヘルスの在り方 ・ストレスチェックの活用	1学年
10月	○服務規律の確保② ・盗撮、わいせつ行為等の事例研修	養護教諭
11月	○著作権と情報の取扱いについて ・学校における著作権の留意事項 ・情報管理における日常の留意点	6学年
12月	○服務規律の確保③ ・交通ルールの遵守・飲酒運転の撲滅	教務
1月	○服務規律の確保④ ・体罰の防止 ・アンガーマネジメント	5学年
2月	○職場における心身の健康保持について ・教職員間の相談体制の充実	4学年
3月	○1年間の振り返り	管理職

4 主な施策

(1) 「One IBARAKI」の活用（非違行為全般防止の取組）

毎月、県教育委員会から発行されている「One IBARAKI」を校内研修で活用する。

(2) 校内環境の整備（盗撮・わいせつ事案防止の取組）

- 風通しのよい職場づくりを目指し、教職員の人間関係を構築することに努める。
- 不審な物が置かれられないように、常に教室や更衣室、トイレ等の整理整頓に努める。

(3) 校内ルールの策定（飲酒運転防止の取組）

飲酒運転を絶対させないために「飲酒運転防止の校内ルール」を作成し、全教職員に配付、校内各所に掲示する。

(4) 教職員の共通理解・啓発の取組

- 3ない運動+4：合い言葉「たいせつですね」の徹底

た （体罰、暴言）	<p>体罰は指導にはならない 「フレミングの法則」生徒に中指を立てられ…講師が激怒し暴力「米国なら殺されるぞ」と暴言（新聞の見出し）子どもたちの言動に、カットせず、冷静な対応が必要です。</p>
い （飲酒運転）	<p>歓送迎懇親会・GW・年末年始は要注意（私的な会合も含む） 気が緩みやすい時期です。アルコールは、体に影響を及ぼす物質であることを認識してください。見つからなければ、隠し通せると思っても脳や体がそうできないことがあります。</p>
せ （セクハラ、わいせつ、盗撮）	<p>道義的問題・相手意識 児童生徒に対しては言語道断です。しかし、大人同士の場合、冗談などと軽視してしまうことはありませんか。でも「そんなつもりではなかった」ではすみません。知らず知らずに誰かを傷つけていることを認識しましょう。</p>
つ （遣い込み）	<p>後で補填しておけば… 「ほんのちょっとだから」「後で補填すればいいから」などの軽い感覚がのちに大きなことにつながります。お金は、少額であっても信頼関係を壊すものになります。</p>
で （データの漏洩）	<p>学校にはたくさんの個人情報 人間を預かっている職業であるからこそ個人情報を扱うことを避けて通るわけにはいきません。ちょっとしたヒューマンエラーがもとになることが多いです。</p>
す （スピード違反）	<p>ハンドルを握ると… 道路では法定速度を守って走っている方が少ないとみえることもあります。でも、ルールはルール、危険だからあるルールです。しっかり守りましょう。</p>
ね （ネット犯罪、SNS）	<p>有益な情報もあるが、匿名性が怖い ブログ、Twitter、Facebook などSNSは情報量や即時性の点から利便性は確かにあります。でも匿名性があることから、うっかり投稿してしまうケースがあります。一度、流れた情報はデジタルの世界では、回収は不可能であることを認識しましょう。</p>